

科目名	演習 II		科目コード	2102	
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	2	形態	演習
教員名	鳥海重治				
授業の目的及びテーマ：					
美術教育は、教育する教師自らが制作の喜びを熟知していることが肝要である。しかしながら、自らの感性のみで達成できるものではなく教育のみで行なえるものでもない。まず、種々な素材と対峙し創造的思考の追及と創作技能の熟達を両輪に各自の造形能力の向上を目的とする。					
授業概要					
種々な素材に各自の「手」「眼」「身体」を関わらせ、自らの実体験を通して「制作とはなにか」を問いかけ実証していく。 造形作家、美術教育研究団体の長や教育委員会指導主事（図工・美術）の経験を基に演習内容の指導に当たります。					
授業計画：					
<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 造形全般の解説と授業内容と心得について 2 作品の表現材料についての研究 3 作品の表現材料の研究成果のプレゼンテーションとディスカッション 4 各人が魅了される美術作品についての研究 5 美術作品の研究成果のプレゼンテーションとディスカッション 6 各自が選択した美術作品の再現への挑戦（実作Ⅰ）① 7 各自が選択した美術作品の再現への挑戦（実作Ⅰ）② 8 各自が選択した美術作品の再現への挑戦（実作Ⅰ）③ 9 各自が制作した作品のプレゼンテーションと合評 10 実作Ⅰを踏まえて、各自の自己表現への挑戦（実作Ⅱ）① 11 実作Ⅰを踏まえて、各自の自己表現への挑戦（実作Ⅱ）② 12 実作Ⅰを踏まえて、各自の自己表現への挑戦（実作Ⅱ）③ 13 各自が制作した作品のプレゼンテーションと合評 14 実作Ⅰと実作Ⅱのレポート作成 15 授業（14回）を通してのディスカッション 16 子どもと素材の関わり（幼稚園・小学校で活用できる身近な素材について） 17 素材を活用した教材の研究 ①紙素材をテーマにつくる 18 素材を活用した教材の研究 ②紙素材をテーマにつくる（ダンボール） 19 材を活用した教材の研究 ③紙素材をテーマにつくる（新聞紙） 20 素材を活用した教材の研究 ①自然木をテーマに（木材等） 21 素材を活用した教材の研究 ②自然木をテーマに（木の枝等） 22 素材を活用した教材の研究 ③自然木をテーマに（板材等） 23 素材を活用した教材の研究 ①土や粘土をテーマに（油粘土） 24 素材を活用した教材の研究 ②土や粘土をテーマに（土粘土） 25 素材を活用した教材の研究 ③土や粘土をテーマに（焼成） 					

- 26 自作教材をまとめる（教材集の作成）
- 27 自作教材を生かした保育・授業プランの検討
- 28 自作教材を生かした保育・授業の実践（模擬授業）
- 29 自作教材を生かした保育・授業の実践（模擬授業）
- 30 授業を通してのまとめとディスカッション

テキスト

参考文献：

評価方法：

受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。